

1 事業の目的・役割

目指す姿

市民共働や公民連携等、共創による持続可能なまちづくり
とそのためのプラットフォーム(基盤)の構築

役割

多様な主体が関わりあう「場」と「機会」の提供。
市民活動を行う、行おうとする個人・団体の伴走支援。

対象

市民活動を行う、行おうとする個人・団体
(産官学民の主体、もっぱら営利目的NG)

2 役割(伴走支援の内容)

キッカケラボは下記の支援を行い、市民活動を促進します。

1 つなぐ

相談窓口による市民活動に必要な情報とのマッチング。
市民活動に関するスキル等を学ぶ機会や、キッカケラボ登録
団体と個人、団体との交流・連携の機会の提供。

2 つくる

多様な人材が持つ「やりたいこと」が市民活動につながるため
の伴走支援(プロジェクトの組成支援等)。
仲間づくりやファシリテーションができる人材の育成。

3 ひろげる

HPやSNS等による情報発信(ふくつプレイヤーズ等)。
キッカケラボ登録団体の活動の見える化を支援。
イベントや会員募集等の周知による関係人口の拡大。

3 運営体制

未来共創会議

■役割(センター条例 第6条)

以下の必要な審議・市への提案
・センターの伴走支援を行う。
・センターの業務方針
・センターの業務評価及び改善
・センターの目標達成に関し、
必要な事項

■構成(7名)

・学識経験者
・郷づくり実践者
・社会教育実践者
・まちづくりファシリテーター
・市内事業者
・行政

■審議回数 年4回

目的を確認しながら方向性を検討

事務局

①福津市(地域コミュニティ課)

・施設管理
・登録団体活動支援
・窓口・サービス(相談:初期)

②共働による未来創造支援業務
(業務委託)

受託者:NPO九州コミュニティ研究所

・窓口・サービス(相談:専門)
・広報戦略の策定、基づく運営
・ヒアリング(アウトリーチ型)
・事業部門(関係づくり・人材育成
マッチング・プロジェクト組成
支援)
・プレイヤー制度の運営
(一部が運営参画できる仕組み)

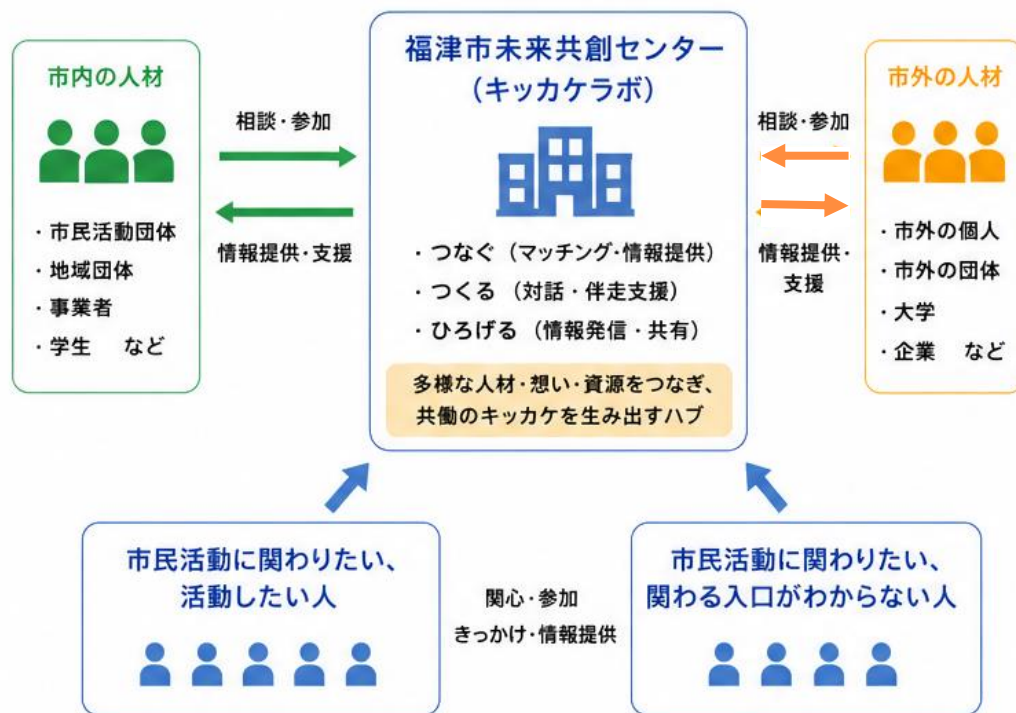
KPI値に基づき効果ある運営を実施

伴
方
走
針
支
決
援
定

報
告
・
相
談
・
提
案

1 関係人口創出イメージ

市内外の多様な人が「福津市未来共創センター（キッカケラボ）」をハブとしてつながり、関わり、共働することで、関係人口が広がり、共働・共創プロジェクトが生まれます。



2 市内・市外の人材とのつながり

市内外の多様な人材がつながることで、新たなアイデアや視点が生まれ、地域に新しい価値を創出します。



3 共働・共創プロジェクトの創出

つながりから生まれた共働のアイデアを、プロジェクトとして具体化し、地域課題の解決や新しい価値の創出につなげます。



共働の循環が、地域の未来をつくる

4 最後に

福津市未来共創センター（キッカケラボ）は、つなぐ・つくる・ひろげる支援を通じて、市民活動の活性化と関係人口の拡大を図り、共働による持続可能なまちづくりを推進します。

関係が生まれる

共働が生まれる

未来が生まれる

キッカケラボの支援を通じて、共働・共創プロジェクトの創出と関係人口の拡大を実現します。